



Feb 27-28, 2023

実績報告書

City-Tech.Tokyoの位置づけ

City-Tech.Tokyoは、東京都のSusHi Tech Tokyoの取組の第一弾として、持続可能な社会の実現に向けたスタートアップの挑戦を後押しするものとして、東京都が主導して開催する初のスタートアップのグローバルイベントです。

G-NETS Leaders Summitとの同時開催により、世界への発信力を高めます。

また、昨年11月24日に発表した、東京都の新たなスタートアップ戦略「Global Innovation with STARTUPS」を世界に発信し、都の総合計画である「『未来の東京』戦略」に掲げる2040年に向けたビジョンの一つである、「世界一のスタートアップ都市・東京の実現」を目指します。

東京・日本の新たな成長

⇒世界を視野に活躍するスタートアップが数多く生み出される都市に変貌し、新たな成長と雇用につなげます。産業の未来のために。

持続可能な「未来の東京」の実現

⇒スタートアップとのオープンイノベーションを誘発し、明るい未来の東京を切り拓きます。都民の未来のために。

世界の都市課題の解決

⇒世界の都市が抱える課題への解決策を、世界最大級の都市・東京から世界に発信します。世界の未来のために。

About「City-Tech.Tokyo」

ビジョン	City-Tech for a sustainable future － Creating with startups through open innovation: from Tokyo to the world － スタートアップとのオープンイノベーションで持続可能な社会を実現する“City-Tech”を東京から世界に発信 「City-Tech」とは・・・世界の都市が抱える課題を多様なアイデアとテクノロジーで乗り越え、持続可能な新たな都市像へと導くアプローチ
開催日時	2023/2/27、28 午前9時～午後6時30分
会場	東京国際フォーラム ※ 会場とオンラインのハイブリッド開催 ※ 都内各地でも連携イベントを開催
プログラム	・ キーノート／セッション（世界的著名人、スタートアップ企業、国内外企業、投資家、有識者等が登壇） ・ ワークショップ ・ ピッチコンテスト「City-Tech Challenge」（国内外のスタートアップが登壇） ・ 展示ブース（スタートアップ、国・都市、協賛企業等による出展） ・ 商談会 ・ 関連イベント等 ・ 関連イベント（民間企業等によるイノベーション関係のイベントを前後に連携して各地で多数開催） ・ サイドイベント（C T T 参加者の交流を深めるイベント等を民間企業等の協力を得て多数開催）
料金	【 Early Bird 】 投資家Pass 30,000円、一般Pass 10,000円、学生Pass 1,000円 【 Regular 】 投資家Pass 60,000円、一般Pass 20,000円、学生Pass 2,000円 ※オンライン無料

イベント実行体制

主催者：グローバルイベント2023 実行委員会

職名	所属等
委員長	東京都 副知事
副委員長	東京都 国際金融都市戦略担当局長
委員	(一社)日本経済団体連合会 常務理事
委員	(公社)経済同友会 常務理事
委員	(一社)新経済連盟 事務局長
委員	東京商工会議所 常務理事
委員	(一社)日本ベンチャーキャピタル協会 常務理事
委員	(一社)スタートアップエコシステム協会 代表理事

グローバルイベント2023 実行委員会アドバイザー

氏名	所属等
小田嶋 Alex 太輔	合同会社エッジオブ・イノベーション CEO
名倉 勝	CIC Tokyo ゼネラル・マネージャー
藤本 あゆみ	Plug and Play Japan株式会社 執行役員CMO

(※五十音順)

運営：デロイト トーマツ ベンチャーサポート株式会社

持続可能な新たな都市像へと導く

Infrastructure × City-Tech (インフラ・社会基盤)

- 先端技術を生かし、安全・安心、レジリエントな都市インフラを実現
- 正確・安全な交通機関と、新しいモビリティによる都市内の短距離移動の利便性向上

【主な関連分野】

インフラ(ハード・ソフト)/Mobility

(Keyword)

災害予測/インフラメンテナンス/マイクロモビリティ等

Living × City-Tech (生活)

- 子供から高齢者まで、誰もが快適に、いきいき生活するための支援の充実
- 金融分野などでの先端技術の活用により、人々の生活利便性の向上

【主な関連分野】

医療・ヘルスケア/フィンテック

(Keyword)

エイジテック/感染症対策/デジタル地域通貨等

Environment × City-Tech (環境)

- エネルギーの生産・消費システム再構築による脱炭素社会・循環型社会の実現
- 次世代食品の開発、フードロスの削減等による食料の安定供給

【主な関連分野】

環境・エネルギー/フードテック

(Keyword)

クリーンテック/エシカル消費/代替タンパク質等

Culture × City-Tech (文化)

- 都市が本来持つ伝統的な文化と先端技術の組み合わせによる新たなエンターテインメント性の創出、都市の魅力の再発見

【主な関連分野】

カルチャー・エンターテインメント

(Keyword)

メタバース/デジタルアート・NFT/スポーツ等



開催実績

延べ参加者数 26,746人（来場11,167人、オンライン15,579人）

参加国・都市 67か国293都市

出展スタートアップ数 328社（41国・地域）

キーノート／セッション 3キーノート、25セッション

商談 1,377件以上

参加 V C・投資家 288社

来場メディア 74社（10か国）

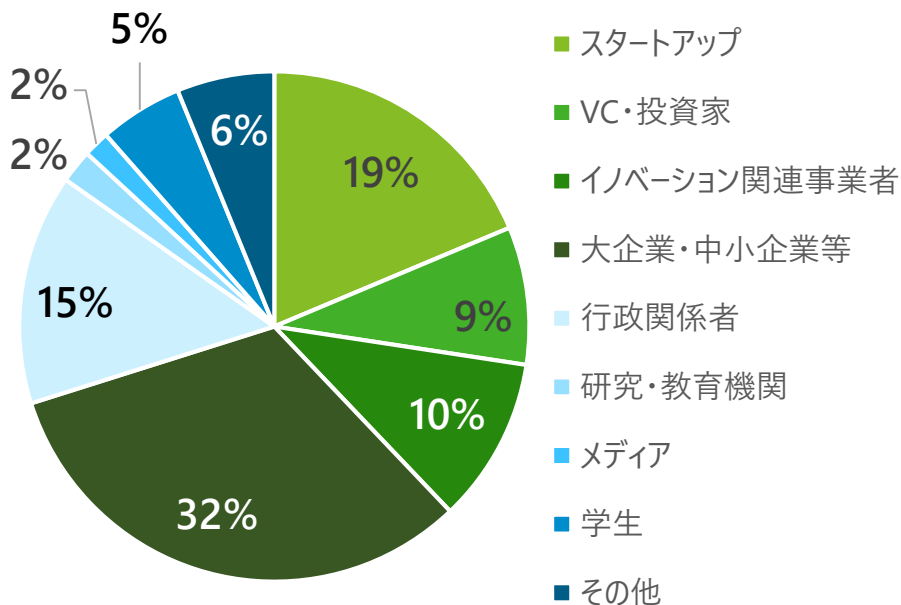
関連イベント等 29件 延べ参加者 約11,000人

参加者の内訳、属性

オフライン参加者の内訳

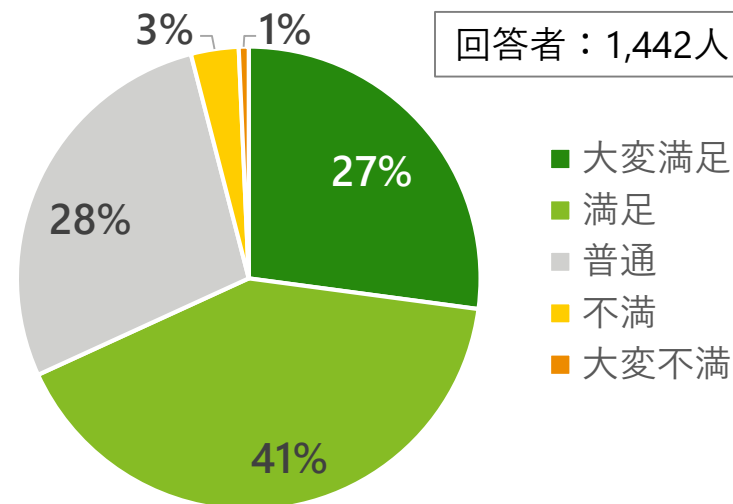
	来場者	出展者等	計
国内	6,403人	2,227人	8,630人 (77%)
海外	1,191人	1,346人	2,537人 (23%)
計	7,594人 (68%)	3,573人 (32%)	11,167人

オフライン参加者(来場者)の属性



イベント全体の満足度

回答者：1,442人



主なコメント

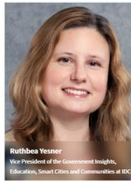
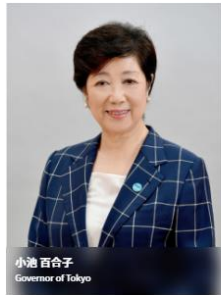
- ・ 東京でハイレベルなネットワーキングができたのは初めて。
- ・ 商談がおこなわれており、ビジネスイベントとして有意義。
- ・ 賑わっていてよかった。やっぱり東京都はこうした国際的なイベントをもっと開催していくといいと思う。
- ・ オープニングやクロージングセッションでの著名人によるスピーチや、各ブースでの企業の方による座談会など、ただの企業説明会とは一線を画するイベントが多く催された。
- ・ 大企業の方々との接点も確保でき貴重な機会。
- ・ スタートアップのレベルが高い。

チケット事前登録数

種別	枚数
学生	423枚
一般	8,725枚
投資家	1,152枚
オンライン	3,348枚
計	13,648枚

キーノート／セッション

City-Techのメインテーマやイノベーションを取り巻く話題について、世界の第一線の登壇者によるセッションを開催
25セッション登壇者68名
【11ヶ国・19都市（海外比率6割）、女性3割】



ピッチコンテスト「City-Tech Challenge」

世界35か国・地域から338社が応募。
 1次審査、2次審査の結果、20社(日本8社、海外12社)がセミファイナルに登場
 イベント当日のセミファイナル、ファイナルを経て、
京都フュージニアリング株式会社が最優秀賞(賞金1,000万円)を受賞
 ファイナリストには協賛企業・東京都から特別賞を授与

(ファイナリスト：7社)

最優秀賞



Kiyoshi Seko
Executive Officer/Head of Business and PR&Marketing
Kyoto Fusionengineering Ltd.



Alan Phua
CEO/Co-Founder
Alchemy Foodtech Pte. Ltd.



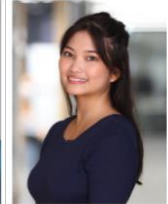
Karen Cheah
Founder/CEO
Alterpacks Pte. Ltd.



Christine Moon
Co-Founder/ COO/President
BlueSpace.ai Inc.



Reina Saiki
Business Strategy Officer of Management Strategy Office
Synspecive Inc.



Andrea Lee
Customer Success (APAC)
Tractable



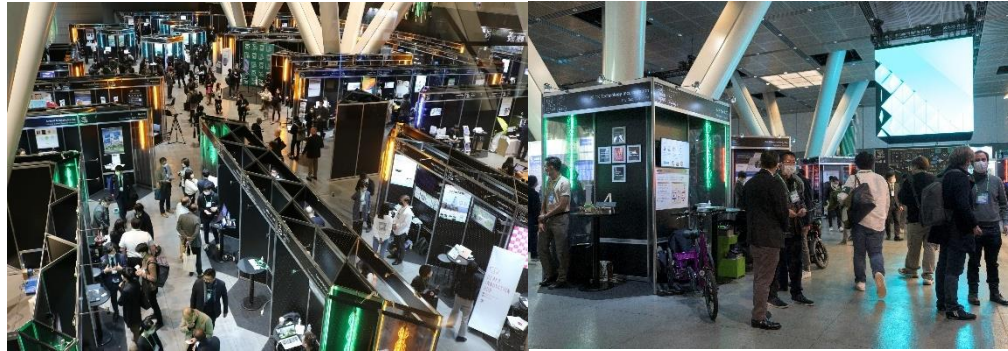
Jeff Hu
CEO
Turing Chain Ltd.

展示ブース

「分野別ブース」のほか、国内外の都市が推薦するスタートアップが出展する「都市別ブース」、その他「大学ブース」「JETROブース」「協賛企業ブース」、東京都の施策を紹介するロビーギャラリーでの展示等により**全399のブースを構成**

- 分野別 192ブース
- 国・都市 134ブース(36国・都市)
- 大学 20ブース(6大学)
- JETRO・METI 18ブース
- 協賛企業 11ブース
- 東京都(ロビー展示) 24ブース

(ホールE)



(デモスペース)



(サービス・プロダクトの展示)



(ホールD7)



(ロビーギャラリー)



商談会

本イベントを起点としたオープンイノベーションを促進するため日本企業のハイレベルな方々(意思決定層)と国内外スタートアップ等が参加する商談会を開催し、マッチング機会を提供

商談件数 1,377件 (1社あたり10件)

※イベント後の出展者アンケート(328社中134社回答)により集計。



関連イベント・サイドイベント

全体としての魅力を高めるため、前後2週間で他イベントとの連携(相互の広報・PR協力)を企画
G-NETS*合同レセプションやサイトビジットツアー等の交流を目的としたサイドイベントが8件、東京都、民間が主催するイノベーション関連イベントが21件の**合計29件を開催**

*東京都が主催する世界34都市のリーダーが参加する国際会議「G-NETS Leaders Summit」が、City-Tech.Tokyoと同時期に開催され、City-Tech.Tokyo参加のスタートアップとも交流した

(合同レセプション)



(文化体験：着物着付け体験)



関連イベント/サイドイベント(一部抜粋)



パートナー/アンバサダー

協賛企業18社

Gold Partners



そう、
ビジネスには、
これがある。



Silver Partners



Bronze Partners

INITIAL



POCKETALK

SoftBank



イベントアンバサダー 75社

出展SUの推薦、イベン
トのPR、イベント参加の
ご協力を依頼

メディアパートナー 12メディア

イベントのPR、セッション
調整等のご協力を依頼

PRアンバサダー 14名

SNS発信等でのイベン
トのPRのご協力を依頼

City-Tech.Tokyo 東京ベイ e S G プロジェクトブース Executive Summary

来場者数 2/27 (月) 6,313人 2/28 (火) 3,292人 のべ9,605人

東京ベイ e S G プロジェクトの来場者への効果的なプロモーションを実施するとともに、東京ベイ e S G パートナー、先行プロジェクト採択事業者等のステークホルダーとの関係構築、今後の連携強化に向けたつながりを作りました。

1 東京ベイ e S G プロジェクトの P R (先行プロジェクト採択事業者 9 社、パートナー 13 者の出展)

先行プロジェクト、国際発信イベント、東京ベイ e S G パートナーの取組をブース展示、ステージ等により P R を実施

【先行プロジェクトの展示】



次世代モビリティ



再生可能エネルギー



環境改善

【パブリシティ獲得に寄与したパートナー展示】



アイキャッチとなった“空飛ぶクルマ”の展示



CESでも注目、非常時電源にもなる畳める e バイク

2 関連イベント・ステージイベント・SNS 施策等の来場誘引

出展者と連携し SNS 施策で来場誘引するとともに、パートナー交流イベント (4分野合計55者) を T M I P で開催し、CTTへ誘引



SNS30万以上のRT



TMIPからCTTへ案内



ネットワーキング



ステージイベント
(イノカ、チャレンジャーとのトークセッション)

3 コミュニケーションスペース

国際発信実行委員会メンバー、
国交省、経産省等との打合せに活用



東京都ブースについて

東京都はCity-Tech.Tokyoにおいて、主に行政施策に関連する最先端テクノロジーの紹介や魅力のあるコンテンツをインフラ・社会基盤、環境、生活、文化の4つのテーマにわけて展示し、SusHi Tech Tokyo (Sustainable High City Tech Tokyo)として発信しました。

環境エリア



ステージイベント



生活エリア



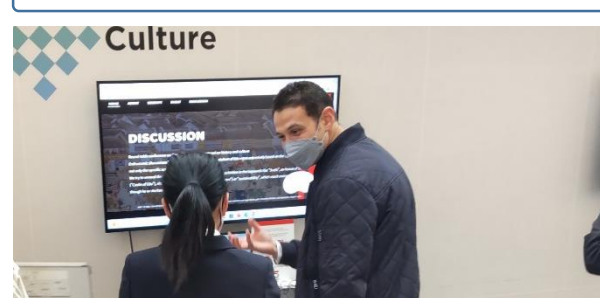
インフラ・社会基盤エリア



大型暖簾



文化エリア



東京都ブース開催状況

日 時

令和5年2月27日～28日 9時～18時30分

場 所

東京国際フォーラムロビーギャラリー1

来場者数

延べ 約12,000人

**ステージ
観覧者数**

延べ 約750人

**ステージ
セッション数**

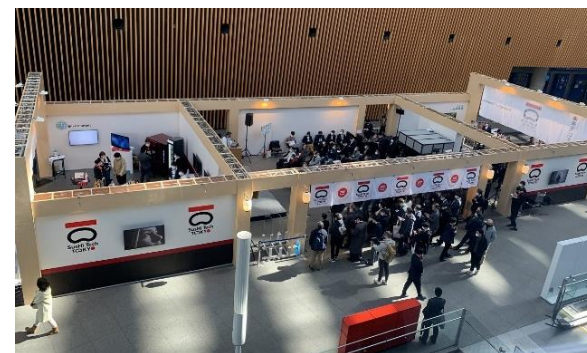
21

**ブース内映像
コンテンツ数**

50

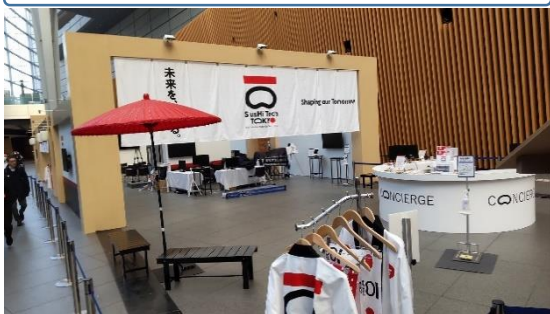
**ブース内
展示物数**

15



大型暖簾・江戸時代の寿司屋台の設置などにより江戸由来の雰囲気醸成するとともに、コンシェルジュによる案内、フォトスポットの設置など、誰もが気軽に立ち寄れる空間を演出しました。

フォトスポット



コンシェルジュによる案内



寿司屋台

